

議題1 令和7年度主要事業の取組状況等について

富山市では、令和3年3月に策定した「第2次富山市スポーツプラン（R3～R12）」に位置づけた6つの基本施策に基づき、スポーツ事業の推進に取り組んでいる。

1 第2次スポーツプランの施策体系

基本理念	基本目標	基本施策	国のスポーツ基本計画の分野
かにぐらすまちづくり スポーツに親しみいつまでも健康で豊	①スポーツ活動の充実 ②スポーツ拠点の整備・充実	①生涯スポーツの推進 ②競技スポーツの推進 ③学校における体育・運動部活動等の充実 ④スポーツの拠点づくり ⑤スポーツ指導者と組織の育成 ⑥スポーツを通じた地域の活性化	スポーツを「する」 スポーツを「する」 スポーツを「する」 スポーツを「ささえる」 スポーツを「ささえる」 スポーツを「みる」「さえる」「つながる」

2 基本施策

(1) 生涯スポーツの推進

ア. 子どものスポーツライフの推進

子どもの体力及び生活習慣の現状を把握するとともに、教育委員会や（公財）富山市スポーツ協会等と連携し、子どもの体力向上事業や運動指導者育成事業を実施する。

＜主な事業内容＞

①事業名：健康・体力つくり事業（予算額：400千円）

・こども運動あそびプログラム

コオーディネーション能力を向上させる体験会を6月に実施（未就学児、小学生109名参加）。

また、体力向上事業として、子どもスキー教室やスノーボード教室を1月頃に実施予定。



イ. 若者・中高年者のスポーツライフの推進

中年期における身体活動や運動について意識を向上させ、運動を行う機会の提供やスポーツの普及・啓発活動を（公財）富山市スポーツ協会等と連携し、実施する。

＜主な事業内容＞

①事業名：健康・体力つくり事業（予算額：400千円）

- ・大人の体力・運動能力測定会（6月に実施し、125人が参加）
- ・大人の部活（ランニング部：9月～11月全8回）

・女性ヘルシーセミナー【新規】

働き盛り世代の女性をターゲットに、健康で美しい身体つくりを目指すヨガや、ピロキシング、栄養士監修の食事提供&講座を開催（計 45 名参加）。



②事業名：市民スポーツ・レクリエーション祭事業（予算額：772 千円）

・校区対抗で、各種目の大会を実施する。

種目	期日	会場
ビーチボール	9月（99名参加）	2000年体育館
グラウンド・ゴルフ		富山南総合公園芝生広場
フレッシュテニス	10月	八尾スポーツアリーナ
パークゴルフ		神通川緑地公園

ウ. 高齢者のスポーツライフの推進

高齢者向けの運動・スポーツプログラムの普及啓発を図るとともに、身近な地域で気軽に活動できる環境づくりを推進する。

<主な事業内容>

①事業名：健康・体力つくり事業（予算額：400 千円）

・高齢者の健康体力つくり指導者講習会

高齢者が元気で充実した日常生活を送る身体づくりのために必要な知識を深め、指導者の資質の向上を目指した講習会を開催（7月実施、32名が参加）。

エ. ユニバーサルなスポーツの推進（ウォークの推進）

手軽に取り組むことが可能な「ウォーク」を通じ、体力向上、健康増進を図る。

<主な事業内容>

①事業名：四季のウォークの開催事業（予算額：1,160 千円）

項目	コース
さくらウォーク（4月：747人）	富岩運河環水公園～市役所（5kmと11km）
富岩運河 WALK&RAIL（6月：72人）	富岩運河環水公園～岩瀬カナル会館（7.5km）
呉羽丘陵ウォーク（10月）	呉羽丘陵（ファミリーパーク）周辺（4.8kmと6km）
まちなか探訪ウォーク（12月）	市役所～富山駅（5km）

②事業名：親子トレッキング事業（予算額：300 千円）

・自然の大切さや、歩くことの素晴らしさを体験してもらうことを目的に、6月～10月に親子で実施する立山周辺のトレッキング費用に対して一部を支援する。今年度は13組を支援。（昨年は20組）



オ. ユニバーサルなスポーツの推進（障害者スポーツの推進）

障害の有無にかかわらず、誰もがユニバーサルなスポーツに取り組むことのできる環境づくりを推進する。

<主な事業内容>

①事業名：市民スポーツ・レクリエーション祭（予算額：772千円）

・ニュースポーツ体験会の開催

7月26日（土）に富山市総合体育館でカローリング、モルック等を体験できる体験会を開催し、62名が参加。



・ボッチャ交流会の開催

10月19日（日）に富山南総合公園体育文化センターで開催予定。※16チーム96名を募集

②事業名：障害者スポーツ推進事業（R6～）

新たに障害者スポーツの普及促進を図るために設立した団体の設立・運営や、競技団体における新たな障害者スポーツの普及促進部門の立ち上げに必要となる費用を支援。

(ア) 障害者スポーツ団体設立・運営補助（※R6に1件実績あり）

[対象]障害者スポーツの普及促進を図るため新たに設立した団体

[金額]300千円以内（1団体3年間限り）※2年目以降は、200千円以内。

(イ) 障害者スポーツ部門運営補助

[対象]富山市スポーツ協会に加盟する団体

[金額]300千円以内（1団体1回、初年度のみ）

【指標の進捗状況】

項目名	基準(年度)	R6 年度実績	進捗状況	目標(R12 年度)
成人の週1回以上のスポーツ実施率	49.0% (R2)	調査未実施	—	65.0%以上
スポーツをすることが好きな児童生徒の割合（※）	《児童》 男子：66.1% (R2) 女子：57.1% (R2) 《生徒》 男子：61.4% (R2) 女子：38.5% (R2)	《児童》 男子：73.1% (全国平均 73.0%) 女子：54.5% (全国平均 54.8%) 《生徒》 男子：67.4% (全国平均 65.5%) 女子：43.0% (全国平均 43.2%)	【達成】 【未達】 【達成】 【未達】	《児童》 男子：全国平均以上 女子：全国平均以上 《生徒》 男子：全国平均以上 女子：全国平均以上
ウォーキイベントの参加者数	1,826人 (R1)	3,221人	【達成】	3,000人以上

※目標の全国平均は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（文部科学省）における全国平均。

※令和2年度は全国調査未実施のため、市独自で調査したもの。

(2) 競技スポーツの推進

ア. 競技力の向上（ジュニア選手と富山市を代表するスポーツの育成）

全国や世界で活躍するジュニア選手の育成・強化を目指し、各競技団体、学校、地域と連携しながら、引き続き支援する。

<主な事業内容>

①事業名：ジュニア競技力向上事業（予算額：11,798千円）

・ジュニア選手の競技力向上を目的に、競技種目ごとにレベル・目的に応じた強化事業（基本強化25種目、特別強化16種目、県体強化16団体）を実施。

②事業名：指導者招聘事業（予算額：650千円）

・全国トップレベルとなるU-20、U-17日本代表コーチ山口徹氏や2022～2024国民スポーツ大会優勝者上野優斗氏、中央大学杉並フェンシングクラブコーチ石王智晴氏を招き、選手の競技技術や指導者の指導力の向上を図った。

③事業名：ドリームアスリート交流事業【新規】

・スポーツへの関心を高めてもらうことを目的に、富山市出身のプロスノーボーダー広野あさみ氏や重量上げ選手の村上英士朗氏、福島聖氏などのトップアスリートを小中学校へ招き、講演や交流を実施（予算額200千円）



④事業名：スポーツ大会派遣事業（予算額：11,303千円）

・全国規模等の大会へ出場する監督、選手へ激励費を支給。また、優秀な成績を収めた選手には報奨金を支給（※9月末で809人へ支給）。

イ. 組織の充実

スポーツ振興における各種事業を実施し、市のスポーツ振興の中心的役割を担っている富山市スポーツ協会加盟団体に引き続き補助を行う。（予算額：9,359千円）

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R6 年度実績	進捗状況	目標(R12 年度)
国民スポーツ大会等出場者数	1,470人(H30)	1,331人	【未達】	1,560人以上
国民スポーツ大会等優勝競技数	7競技(H30)	7競技	【未達】	10競技以上

(3) 学校における体育・運動部活動等の充実

ア. 生きる力をはぐくむ体育・スポーツの推進

子どもの体力及び生活習慣の現状を把握するとともに、教育委員会、富山市小学校スポーツ推進連盟、(公財)富山市スポーツ協会等と連携し、子どもの体力向上事業や運動指導者育成事業を引き続き実施する。

<主な事業内容>

①事業名：スポーツ指導員の派遣事業（予算額：702千円）

- 正しい身体の使い方の習得や体力向上を目指し、器械体操やボール運動など専門的な知識をもつ指導者を幼稚園、小学校（17校）に派遣。
- 熊野小学校へゲストティチャーとして阪神タイガース
- スペシャルアンバサダーの糸井嘉男氏と同球団ベースボールアンバサダーの秋山拓巳氏による授業を実施。



イ. 体育・運動部活動を行うための環境整備

小学校教員を対象とし、体育科の授業における安全指導、質の向上を目的とした、器械運動（マット、跳び箱、鉄棒）、陸上競技、ボール運動、体つくり運動、水泳指導の講習会を行う。

ウ. 休日の運動部活動の地域展開

国の動向に注視しつつ、休日の部活動の地域展開に関し、行政と関係団体、学校関係者等による協議会において、課題の解決と必要な施策について協議を行う。

エ. 子どもの望ましい生活習慣づくりの推進

小中学校で実施している「すこやか検診」で、要医療、経過観察、生活指導となつた児童生徒及び保護者向けの「すこやか教室」を開催し、運動習慣を含む生活習慣づくりの重要性を指導する。

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R6 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
体育の授業を楽しいと思う児童生徒の割合（※）	《児童》 男子：62.2% (R2) 《生徒》 男子：57.0% (R2)	《児童》 男子：74.9% (全国平均 75.0%) 《生徒》 男子：62.7% (全国平均 57.4%)	【未達】	《児童》 男子：全国平均以上 《生徒》 男子：全国平均以上
運動部に所属している生徒の割合（※）	女子：55.3% (R2) 女子：44.8% (R2)	女子：59.7% (全国平均 59.5%) 女子：42.7% (全国平均 39.5%)	【達成】 【達成】 【達成】	女子：全国平均以上 女子：全国平均以上

※目標の全国平均は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（文部科学省）における全国平均。

※令和2年度は全国調査未実施のため、市独自で調査したもの。

(4) スポーツの拠点づくり

ア. 市営スポーツ施設の充実

<主な事業内容>

①拠点スポーツ施設の長寿命化（予算額：55,400千円）

- ・富山市民プール採暖室機器更新業務（7月完了）
- ・山田総合体育センター非常口扉復旧業務（9月完了）
- ・婦中テニスコート（9月完了）
- ・富山市民球場車椅子席等設置業務
- ・八尾ゆめの森テニスコート人工芝改修業務 など



②市総合体育館Rコンセッション事業（設計・改修・運営・維持管理を一体的に実施）

富山市総合体育館（令和7年8月から全館休館）について、令和6年9月に事業者と締結した「Rコンセッション事業実施契約」に基づき、令和8年10月のリニューアルオープンに向け、改修業務を進めている。[※別紙参照](#)

イ. 市立学校体育施設の開放

市民のスポーツ活動の場を確保するとともに、健全な団体活動の促進及びスポーツの振興を図り、健康増進につなげるため、学校体育施設を市民の使用に供する。

<主な事業内容>

①事業名：夜間照明、防球ネット等改修事業（予算額：5,250千円）

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R6 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
市営スポーツ施設等の年間利用者数	285 万人 (R1)	255 万人 (R6)	【未達】	300 万人以上
市営体育館の年間稼働率	42.9% (R1)	49.0% (R6)	【達成】	45.0%以上

(5) スポーツ指導者と組織の育成

ア. スポーツ指導者の育成

幅広い年齢層を対象に、各世代の身体特性に応じた理論と指導技術を習得するため資格（健康運動指導士等）取得やスキルアップのほか、ジュニア選手の競技力向上を目的に、指導者の資質能力向上を図る。

<主な事業内容>

①事業名：指導員資質向上事業（予算額：104千円）

②事業名：ジュニアアスリート指導者研修会開催事業（予算額：184千円）

イ. スポーツ指導者の活用

国内トップレベルの指導者を招聘し、最新の競技技術や指導技術について講義、実技指導を仰ぎ、市内選手の競技力と指導者の指導力の向上を図る。

①事業名：指導者招聘事業（予算額：650千円）※再掲

ウ. 組織の育成

スポーツ振興に資する取組を行う各種団体等について、支援を行う。

<主な事業内容>

①事業名：市スポーツ少年団への補助事業（3,000千円）

②事業名：市スポーツ推進委員協議会への補助事業（800千円）

③事業名：総合型スポーツクラブへの支援

市営スポーツ施設の優先利用及び使用料の減免を行うとともに、市ホームページ上の各クラブの情報提供などの支援を行う。

【指標の進捗状況】

項目名	基準（年度）	R6 年度実績	進捗状況	目標（R12 年度）
スポーツ推進委員の活動参加率	15.7% (R1)	20.0% (R6)	【未達】	30.0%以上
総合型地域スポーツクラブの会員数	9,925 人 (R1)	8,544 人 (R6)	【未達】	11,000 人以上

（6）スポーツを通じた地域の活性化

ア. 地域のスポーツ文化の形成

令和8年7月29日に富山市民球場で開催されるプロ野球「マイナビオールスターゲーム2026」に向けて、開催機運の醸成のほか、能登半島地震からの復興支援も兼ねて、各種事業を日本野球機構等と連携して実施。

<主な事業内容>

①事業名：ボールシティとやまプロジェクト実行委員会負担金（12,500千円）

・横浜DeNAベイスターズ初代監督の中畠清氏を招いた「親子野球教室」を富山市と氷見市で開催。なお、氷見市での開催にあたっては、七尾市からも参加者を募った。

・プロ野球「マイナビオールスターゲーム 2025 第1戦」のパブリックビューイングの開催（場所：グランドプラザ）など



イ. 地域に密着したプロスポーツチームへの支援

<主な事業内容>

①事業名：プロスポーツチーム支援事業（予算額：503千円）

・富山グラウジーズ（「富山市民デー」の広報掲載等）

・カターレ富山（「富山市の日」の広報掲載等）

・富山GRNサンダーバーズ（「富山市民の日」の広報掲載等）

ウ. スポーツイベントの活用

スポーツイベントは、市民にスポーツを「する」機会の提供に加え、それを「みる」人、スタッフ等の「ささえる」人など、多くの人が「つながり」交流する機会を創出するため、大会・イベントの開催、誘致等を行う。

<主な取組内容>

- ①プロスポーツ等の誘致、開催支援
- ②北信越国民スポーツ大会の開催



エ. 地域のスポーツ情報の提供

いつでも、どこでも、スポーツに参画する人が期待するスポーツ情報を閲覧又は取得できるよう、スポーツ情報へのアクセス改善を図る。

<主な事業内容>

①事業名：広報とやまでのイベント情報の提供

- ・毎月2回発行の「広報とやま」において、市スポーツ協会主催のイベントやプロスポーツチームホーム戦などの情報を市民に発信する。

②事業名：富山県公共施設予約システムの導入・活用

- ・令和7年度から、富山市のかた富山県・高岡市・朝日町、滑川氏が共同で調達した富山県公共施設予約システムの本格運用を6月から開始している。当該システムでは、文化施設や公園等の予約管理も可能。
- ・旧の施設予約システム「とやまスポーツネット」は、廃止した。

【指標の進捗状況】

項目名	基準(年度)	R6 年度実績	進捗状況	目標 (R12 年度)
地域のプロスポーツの観戦率	《競技場等》 成人：7.1% (R2) 児童生徒：32.8% (R2) 《テレビ等》 成人：11.5% (R2) 児童生徒：29.5% (R2)	調査 未実施	—	《競技場等》 成人：10.0%以上 児童生徒：35.0%以上 《テレビ等》 成人：15.0%以上 児童生徒：35.0%以上
スポーツを通じた交流に意義を感じている人の割合	26.1% (R2)	調査 未実施	—	30.0%以上
とやまスポーツネットの年間アクセス件数	96,403 件 (R1)	108,454 件	【未達】	110,000 件以上

富山市総合体育館Rコンセッション事業について

(1) Rコンセッション(Rehabilitate[改修] + 公共施設等運営権)事業

施設所有権は、自治体が保持したまま、施設の改修に伴う、設計及び改修と運営に係る権利（施設の運営及び維持管理業務）を事業者に設定する方式

(2) 令和7年度事業費

1,803,950千円 ※事業者との契約期間は15年間

(3) 事業目的

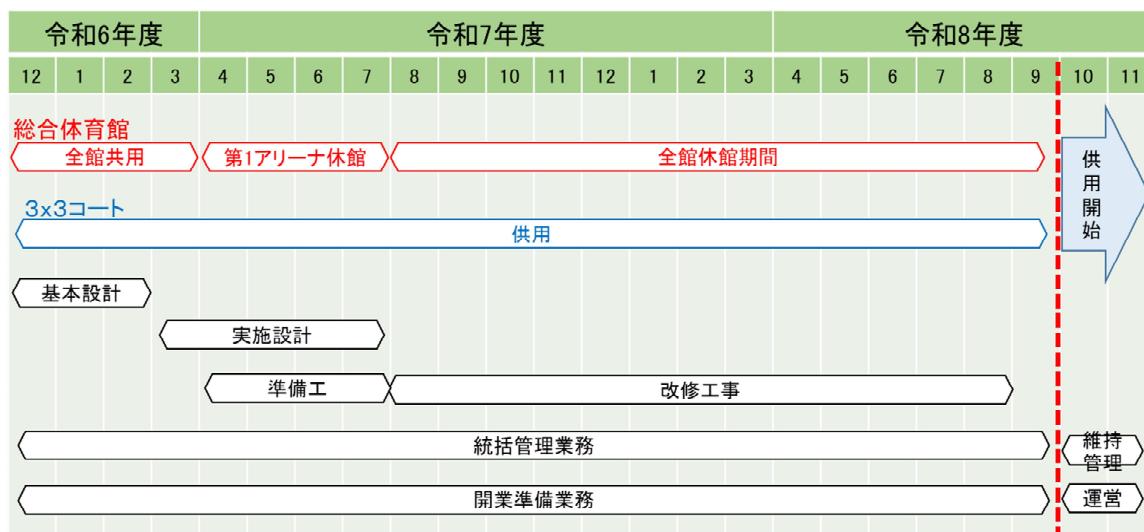
富山市総合体育館について、老朽化への対応に加えてBプレミア基準を充足するための改修を行う。また、民間ノウハウ等を活用した自由度の高い「コンセッション方式」による運営により、市民スポーツの中核施設としての質の向上やエンターテインメントの提供、周辺エリアの活性化を図る。

(4) 事業内容

【期初改修】実施設計業務及び建築改修、空調換気設備改修

【Bリーグ・魅力化改修】

実施設計業務及び建築改修、電気設備改修、空調換気設備改修、給排水衛生設備改修



(4) 主な改修内容

- 観客席をドリンクホルダー付きに更新、座席数5,000席への増設
- スイートルーム8室及びラウンジの設置
- 洋式トイレの増設、各階に多目的トイレを設置
- 車いす対応のエレベーターの新設
- 大型映像装置・リボンビジョンなどの演出装置の整備

○改修後のイメージ図



B プレミア開催時の第1アリーナ



一般利用時の第1アリーナ



新設されるラウンジ及びショップ

○新施設の名称



YKK AP がネーミングライツスポンサーに決定

1 プラン改定の概要

本市では令和3年度から令和12年度までを期間とする「第2次富山市スポーツプラン」を策定し、スポーツ活動の充実やスポーツ拠点の整備を推進してきました。

本プランが中間期間を迎えることに加え、新型コロナウイルス感染症による社会の変化、少子高齢化の一層の進展、学校部活動の地域展開の本格化など、スポーツを取り巻く環境は大きく変化していることやスポーツ基本法の改正（令和7年6月、スポーツ庁）により、スポーツの基本的価値や施策の方向性が拡充されたことを踏まえ、プランの見直しを図ります。

2 プラン改定におけるポイント

- 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）や富山県スポーツ推進プラン（県）、第2次富山市総合計画（後期計画）との整合
- 改正されたスポーツ基本法への対応（スポーツの定義と価値の拡大、健康長寿社会・共生社会の実現、スポーツによる地域振興の推進、デジタル技術の活用の推進等）
- 計画策定以降の大きな社会変化（新型コロナウイルス禍や少子高齢化の進展、部活動の地域展開、デジタル技術の発展等）への対応

3 第2次スポーツプランの位置づけ



4 改定に向けた検討体制及び取組

（1）富山市スポーツプラン検討委員会の設置及び開催

- ア. 開催日時：令和7年7月18日（金）14時～
- イ. 場所：富山市役所 第4委員会室
- ウ. 内容：現状と課題の把握、市民アンケート調査の内容、策定スケジュールなど
- エ. 出席者：小野寺富山大学名誉教授、富山市スポーツ協会（競技スポーツ部長、生涯スポーツ部長、管理係長、スポーツ振興係長）、とやま女性スポーツの会理事長、富山市スポーツ健康課員（3名）

（2）市民アンケートの内容（※アンケート結果の速報版は3頁から）

対象区分	対象人数	実施期間	設問数	回答率
小中学生	6,262	R7.8.27～9.10	21問	68.7%
一般	1,998	R7.8.8～8.22	41問	31.8%

5 第2次プラン改定の素案（基本施策）

基本理念	基本目標	基本施策	変更前	変更案
スポーツに親しみいつまでも健康で豊かに暮らすまちづくり ①② スポーツ拠点の充実・充実	生涯スポーツの推進	(1)子どものスポーツライフの推進 ～子どもの体力の向上～ (2)若者・中高年者のスポーツライフの推進 ～スポーツへの参加機会の拡充～ (3)高齢者のスポーツライフの推進 ～身近な地域で継続的に活動できる環境の整備～ (4)あらゆる世代・人に対応したスポーツ（ユニバーサルなスポーツ）の推進		
		(4)誰もが参加できるインクルーシブスポーツの推進～スポーツを通じた共生社会の実現～ (5)スポーツにおけるデジタル技術の活用の推進		
	競技スポーツの推進	(1)競技力の向上 ～全国や世界で活躍できるトップアスリートの育成・強化～ (2)組織の充実 ～競技力向上のための競技団体組織の充実～		
	学校における体育・運動部活動等の充実	(1)生きる力をはぐくむ体育・スポーツの推進～たくましい心身を養う～ (2)体育・運動部活動を行うための環境整備 ～安心してスポーツ活動ができる環境の確保～ (3)子供の望ましい生活習慣づくりの推進～運動・食事・睡眠の調和のとれた生活～		
	スポーツの拠点づくり	(1)市営スポーツ施設の充実 ～市営スポーツ施設の整備・充実～ (2)市立学校体育施設の開放～身近なスポーツ活動拠点の活用促進～ (3)民間・商業スポーツ施設との連携 ～民間・商業スポーツとの連携～		
	スポーツ指導者と組織の育成	(1)スポーツ指導者の育成 ～多様化するニーズに対応する指導者の育成～ (2)スポーツ指導者の活用 ～多様化するニーズに対応する指導者の活用～ (3)組織の育成 ～スポーツ団体の育成支援～		(2)スポーツ指導者の活用 ～多様化するニーズに対応する指導者の活動環境整備と安心・安全なスポーツ環境の確保～ (3)組織の育成 ～持続可能な活動に向けたスポーツ団体の育成支援～
スポーツを通じた地域の活性化	(1)地域のスポーツ文化の形成 ～「みる」スポーツを通じた地域の活性化～ (2)地域のスポーツイベントやスポーツ拠点の活用 ～スポーツ参画人口の拡大と地域の活性化～ (3)地域のスポーツ情報の提供 ～スポーツに参画する人に対する情報の充実～		(1)地域のスポーツ文化の形成 ～「みる」「つながる」「あつまる」スポーツを通じた地域の活性化～ (4)市総合体育館（YKK AP ARENA）を拠点としたまちなかの賑わい創出 (5)スポーツコミッショングループ連携の推進 ～関係団体との相互連携～	

【市民アンケート結果 速報】

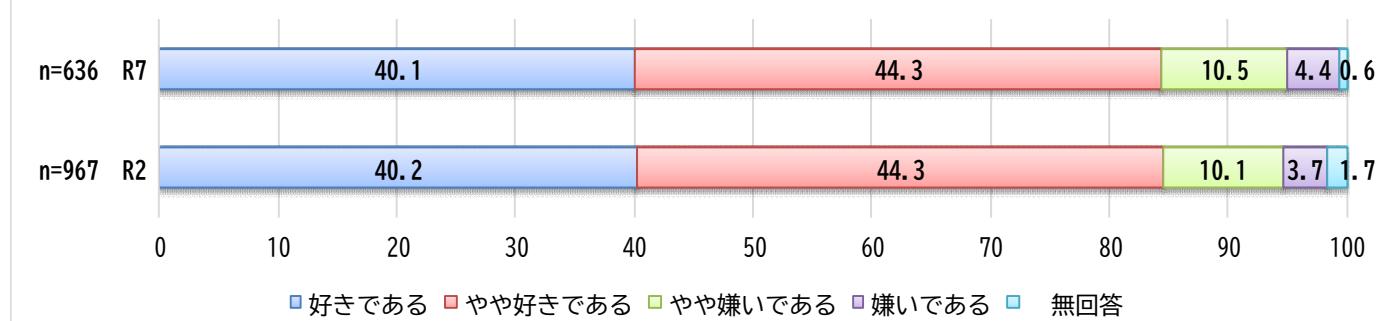
(成人) 12 問/41 問 抜粋 (小中学生) 5 問/21 問 抜粋

1, スポーツを「みる」

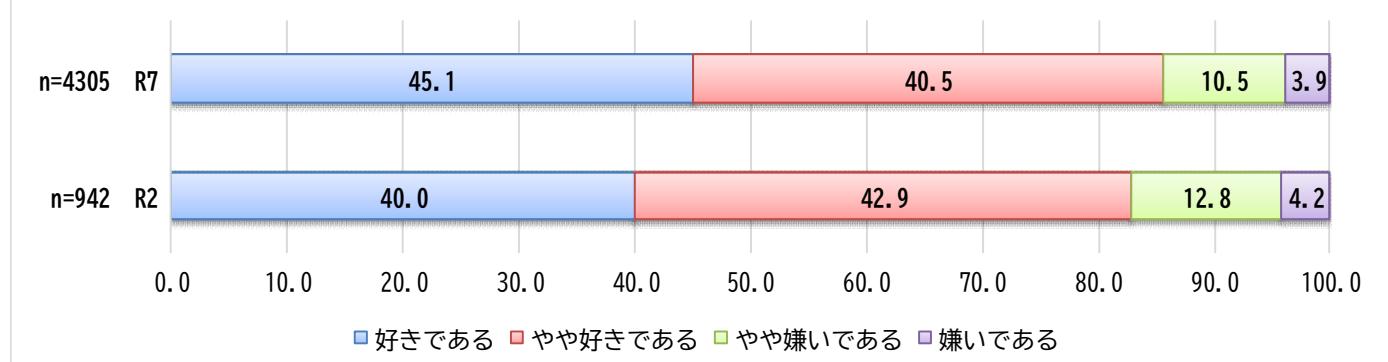
(1)スポーツを見ることが好きか【成人】【小中学生】

成人については、ほとんど変化がないが、小中学生については、「好きである」割合が 5%以上増加し、「好きである」「やや好きである」割合も 2.7% 増加している。

【成人】



【小中学生】



(2)スポーツの観戦状況

【成人】直近1年間のスポーツ観戦率

地域のプロスポーツについて、「競技場等での観戦」は 5.5%、「テレビやインターネットでの観戦」は 9.4% とそれぞれ大幅に増加している。

	R 2	R 7		
1位	地域以外のプロ・アマチュアスポーツをテレビやインターネット等で観戦	58%	地域以外のプロ・アマチュアスポーツをテレビやインターネット等で観戦	51.9%
2位	観戦していない	23.6%	観戦していない	26.1%
3位	全国規模のプロスポーツを競技場等で観戦	14.7%	地域のプロスポーツをテレビやインターネット等で観戦	20.9%
4位	地域のプロスポーツをテレビやインターネット等で観戦	11.5%	全国規模のプロスポーツを競技場等で観戦	14.3%
5位	地域のプロスポーツを競技場等で観戦	7.1%	地域のプロスポーツを競技場等で観戦	12.6%

【小中学生】今まで見たことのあるスポーツの試合

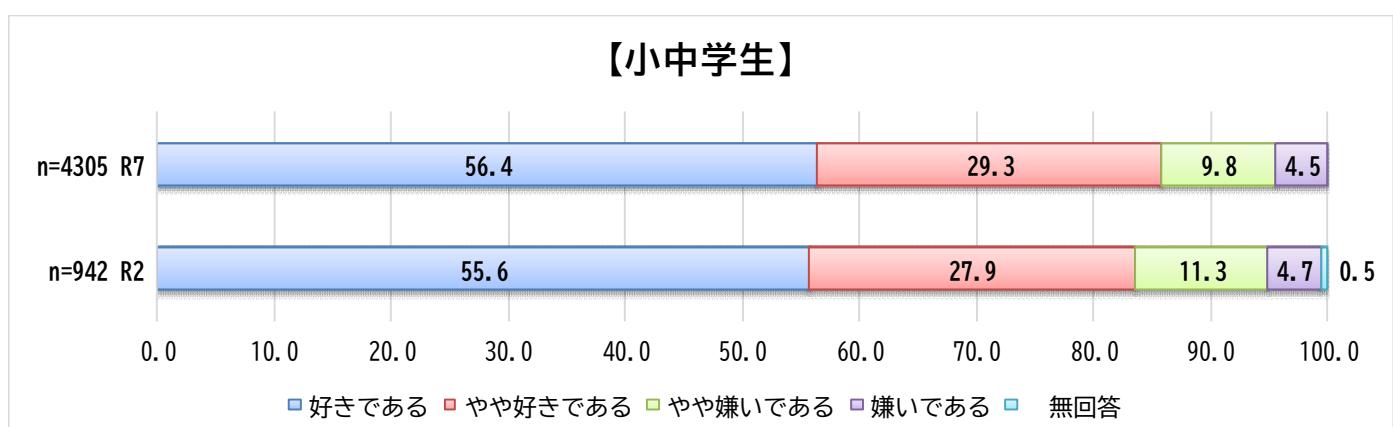
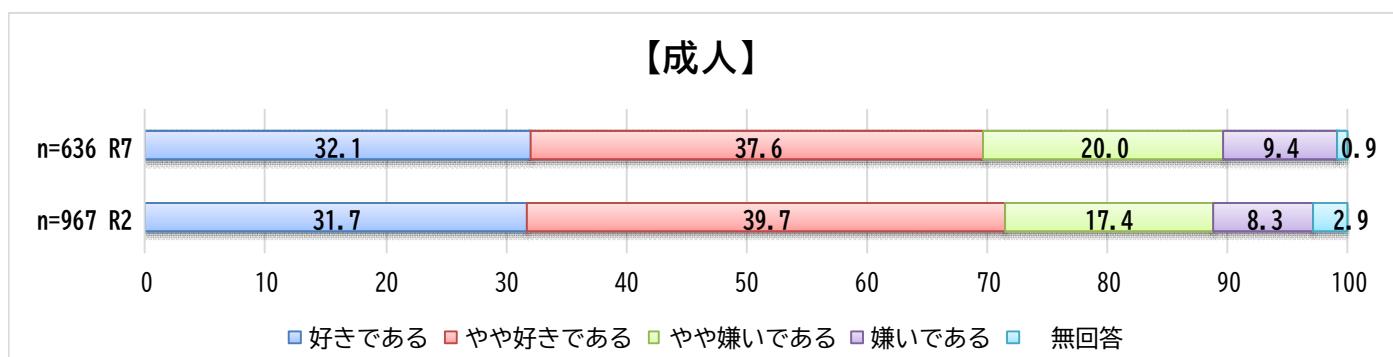
地域以外のプロ・アマチュアスポーツをテレビやインターネット等で観戦について、9.7%と大幅に減少した。また、地域のプロスポーツを競技場等で観戦についても3.2%減少した。

	R2	R7
1位	地域以外のプロ・アマチュアスポーツをテレビやインターネット等で観戦 66.9%	地域以外のプロ・アマチュアスポーツをテレビやインターネット等で観戦 57.2%
2位	地域のプロスポーツを競技場等で観戦 32.8%	プロスポーツ以外（高校野球や県内のクラブチーム）の試合をテレビやインターネット等で観戦 ※新規項目 46.9%
3位	全国規模のプロスポーツを競技場等で観戦 30.4%	地域のプロスポーツを競技場等で観戦 27.2%
4位	地域のプロスポーツをテレビやインターネット等で観戦 29.5%	プロスポーツ以外（高校野球や県内のクラブチーム）の試合を競技場等で観戦 25.0%
5位	プロスポーツ以外（高校野球や県内のクラブチーム）の試合を競技場等で観戦 22.2%	全国規模のプロスポーツを競技場等で観戦 24.4%

2. スポーツを「する」

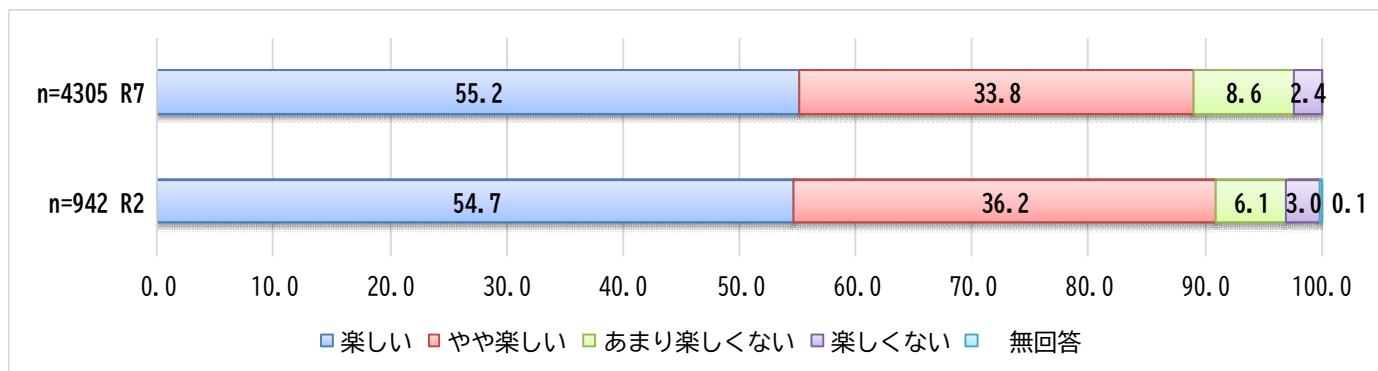
(1)運動やスポーツを「する」ことが好きか【成人】【小中学生】

成人については、「やや嫌い」「嫌い」など否定的な意識が3.7%増加した。小中学生については、「好き」「やや好き」という肯定的な意識が全体の85%以上と非常に高く、R2と比較しても増加している。



(2)体育の授業が楽しいか【小中学生】

「楽しい」「やや楽しい」という肯定的な意識は全体の89%と非常に高い。



(3)1年間で実施した運動・スポーツ【成人】

R 2			R 7		
1位	ウォーキング、散歩	62.2%	ウォーキング、散歩	62.4%	
2位	体操（ラジオ体操・職場体操・3B体操・ストレッチ等）	31.5%	体操（ラジオ体操・職場体操・3B体操・ストレッチ等）	31.9%	
3位	トレーニング（ウェイトトレーニング・トレッドミル・室内運動器具を使ってする運動等）	18.4%	トレーニング（ウェイトトレーニング・トレッドミル・室内運動器具を使ってする運動等）	19.2%	
4位	ランニング・ジョギング・マラソン・駅伝	16.5%	ランニング・ジョギング・マラソン・駅伝	14.3%	
5位	自転車（BMX含む）・サイクリング・一輪車	14.8%	ボウリング	12.1%	
6位	ボウリング	13.4%	自転車（BMX含む）・サイクリング・一輪車	10.1%	

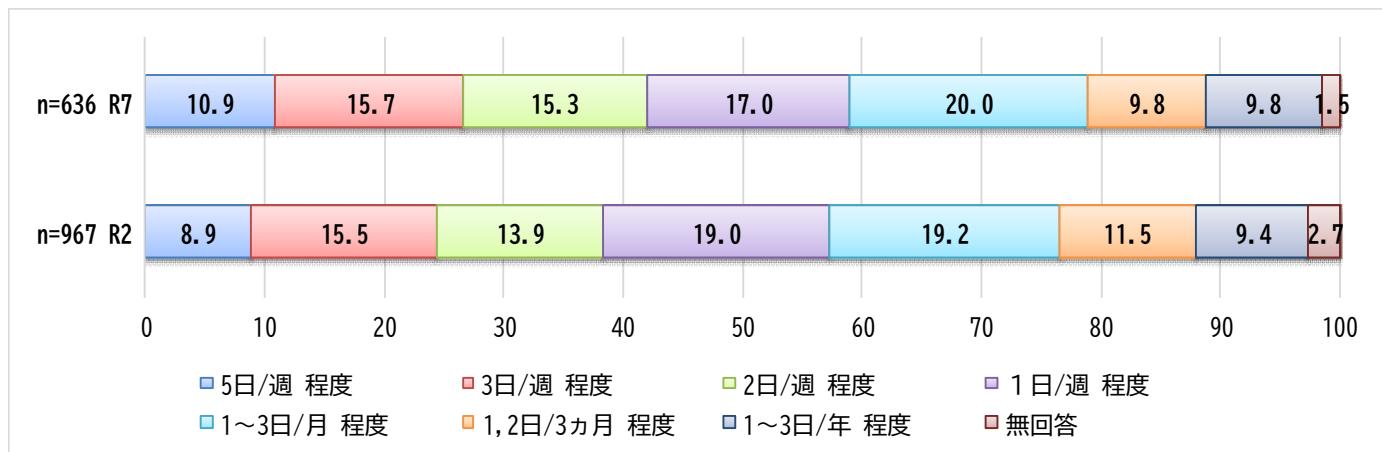
(4)今後実施したい運動・スポーツ【成人】

R 2			R 7		
1位	ウォーキング、散歩	36.2%	ウォーキング、散歩	34.7%	
2位	体操（ラジオ体操・職場体操・3B体操・ストレッチ等）	14.7%	トレーニング（ウェイトトレーニング・トレッドミル・室内運動器具を使ってする運動等）	16.7%	
3位	トレーニング（ウェイトトレーニング・トレッドミル・室内運動器具を使ってする運動等）	13.7%	体操（ラジオ体操・職場体操・3B体操・ストレッチ等）	14.9%	
4位	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス・バランスボール	10.3%	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス・バランスボール	11.2%	
5位	自転車（BMX含む）・サイクリング・一輪車	9.9%	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロック クライミング	8.3%	

(5)運動・スポーツの実施頻度

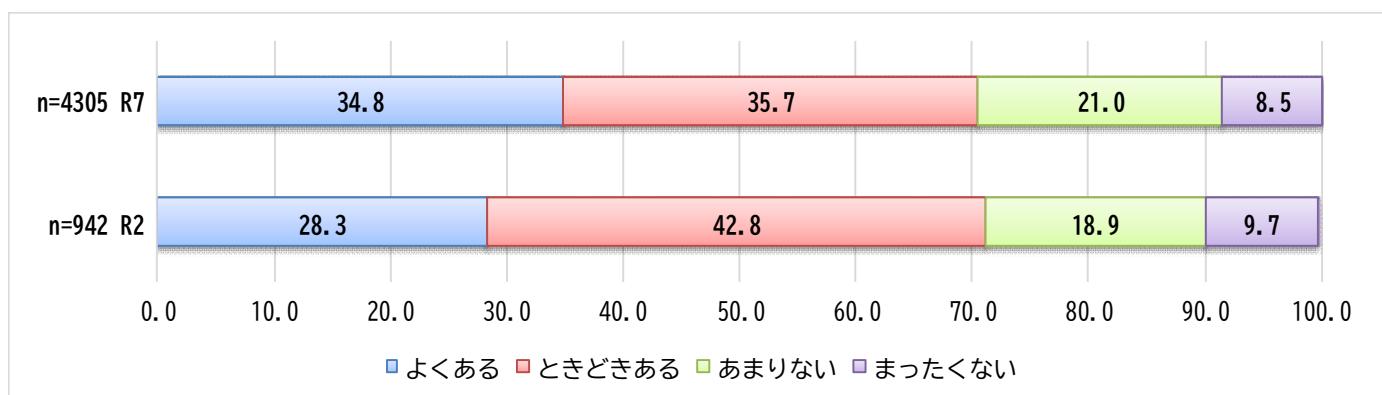
【成人】1年間に実施した運動・スポーツの頻度

実施頻度が「週に2日程度運動・スポーツを実施している」以上の割合は、全体で3.6%増加しており、各項目でもそれぞれ増加している。



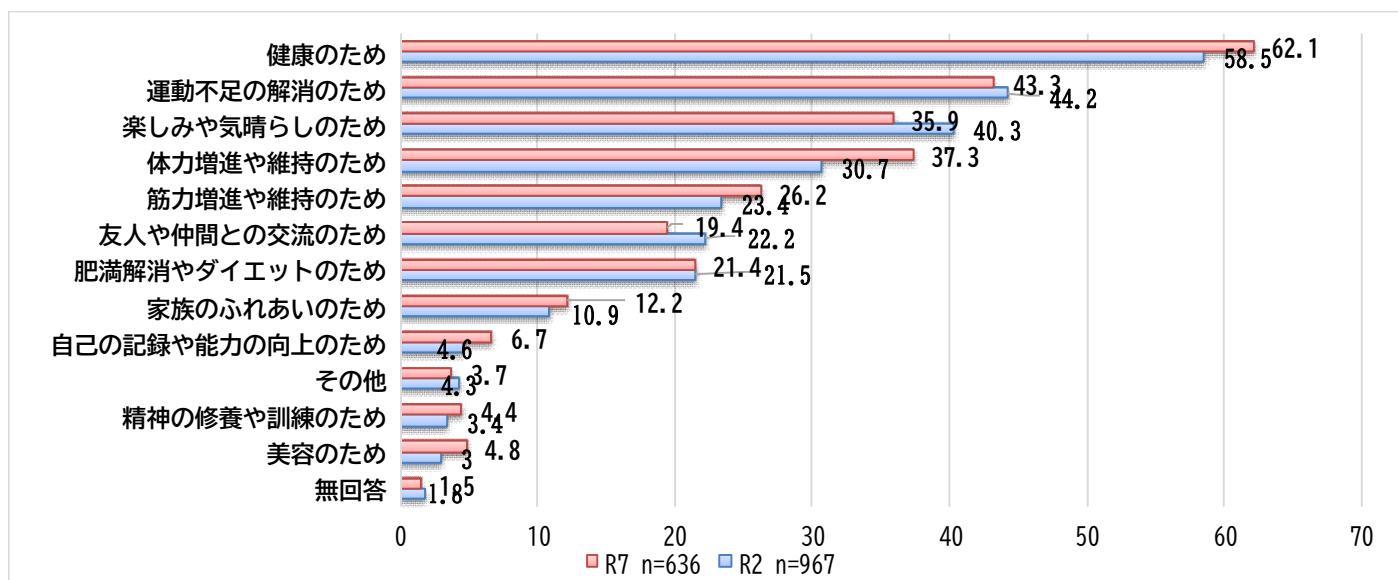
【小中学生】体育の授業・部活動等以外でのスポーツの実施頻度

実施頻度が「よくある」「ときどきある」割合の合計は、70%程度とR2と同程度であるが、内訳としては、実施頻度が「よくある」割合が、6.5%増加している。



(6)運動やスポーツを実施した理由【成人】

「健康のため」や「体力増進や維持のため」「筋力維持のため」など健康や運動能力の維持に関する項目はどの項目も増加しているのに対し、「楽しみや気晴らしのため」「友人や仲間との交流のため」などの項目は減少している。

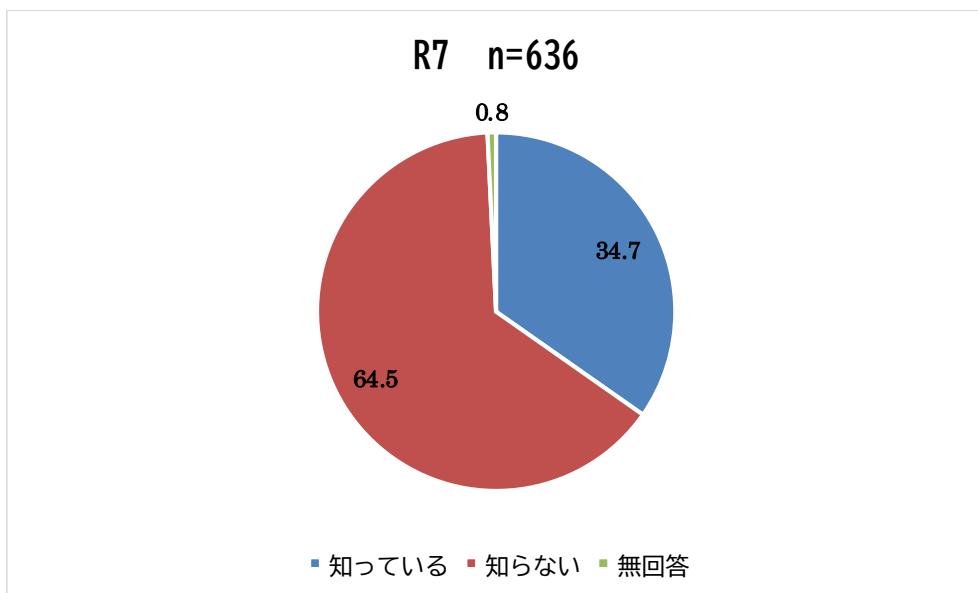


3, スポーツを「支える」

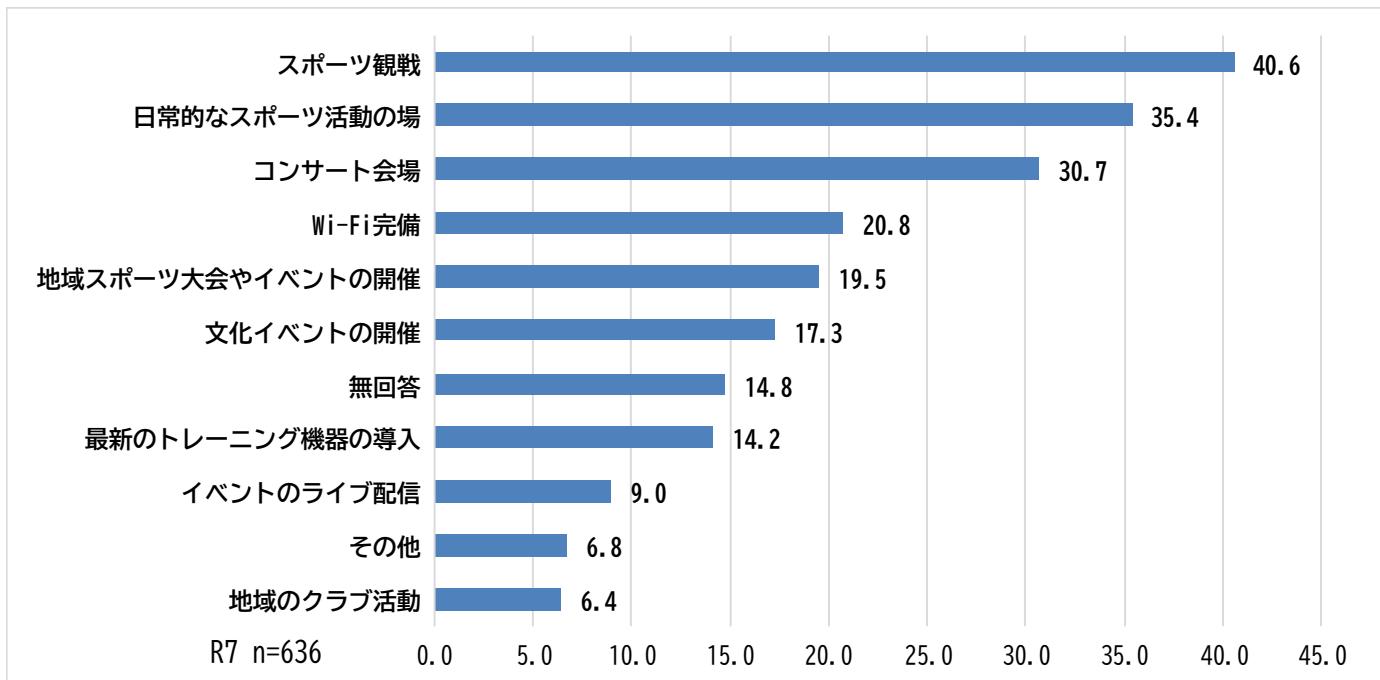
(1)総合型スポーツクラブの認知度【成人】



(2)市総合体育館リニューアルオープンの認知度【成人】



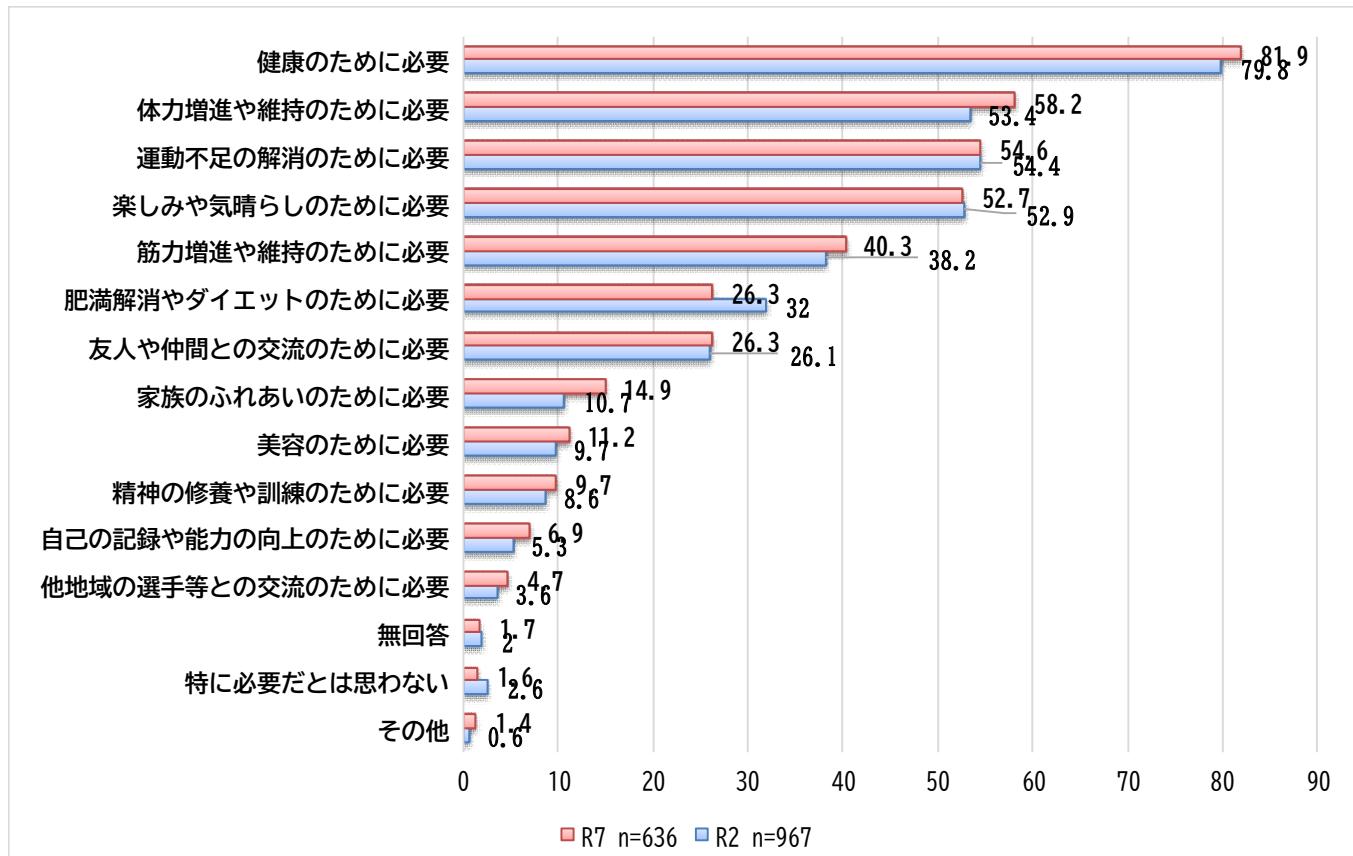
(3)リニューアル後の市総合体育館に期待すること【成人】



4. 運動やスポーツ全般

(1)運動やスポーツに関する考え方【成人】

「健康のために必要」の割合が8割以上であり、上位5項目中4項目は、健康や運動能力の維持に関するものが占めている。



(2)スポーツ推進のために必要な富山市の取組み【成人】

「スポーツ施設の整備・老朽化対策」の割合が8.0%と大幅に増加しており、「スポーツ指導者の育成」の割合も6.9%と大幅に増加している。また、「総合型地域スポーツクラブの充実」や「地域単位のスポーツ教室の開催」の割合もそれぞれ4.7%、4.6%と増加している。

